

2025 年度 研究、教育、社会貢献活動報告書

1. 研 究（本年度のみ）

ふりがな	さとう けんじ				
教員氏名	佐藤 健司	職 位	教授	学 位	修士
アルファベット表記	SATO Kenji				
専門分野		経営学、経営管理論、人的資源管理論			
研究課題	テーマ	「人間関係マネジメントの分析とディーセント・ワークの研究を踏まえた安心・安全な働き方の研究」			
	概要	人間マネジメントの功罪の分析を踏まえた、ディーセント・ワークの研究を踏まえた安心・安全な働き方を考察する。			
本年度 研究業績	研究テーマ	本年度は、研究課題と深い関わりがあると考えられる、「日本企業における働き方の構造」の研究と人間関係マネジメントの課題、の分析を行った。			
	経過と到達点	本年度は、①「日本企業における働き方の構造」、②人間関係マネジメントの課題の分析を行った。 ①については、日本企業における働き方が、重層的構造になりたっており、いわゆるメンバーシップがジョブ型に移行している傾向にあるという側面だけではなく、多面的な内容があるという側面があることを示した。 ②については、筆者が長年行ってきた人間関係マネジメントの研究の一環として、特に、その課題について分析を行った。具体的にはやりがいのある仕事は大事なのであるが、従業員のやりがいを健全に作用する方向に向けてどのような方向性が必要なのかというテーマを中心に、それに付随する諸課題の解決方法などについて検討した。			

（1）学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①日本の学会誌(査読付き)					
②海外ジャーナル(査読付き・IFなし)					

③海外ジャーナル(査読付き・IFあり)					
④国際共著論文					
⑤招待論文					
⑥その他論文					
⑦ディスカッションペーパー・書評					
⑧紀要論文	「日本企業における働き方の構造」	2025年9月	単著	京都経済短期大学論集、第33巻第1号、1-12.	本稿では、現状を分析しながら、日本企業におけるそれぞれの働き方の役割について考察した。
⑨紀要研究ノート・専門誌記事					

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
①単著				
②共著				
③分担執筆				

(3) 学会発表

	学会・研修名	発表年月	発表タイトル	概要
①発表者	京都経済短期大学経営・情報学会	2026年3月12日	(仮称)「人間関係マネジメントの課題」	本報告では、人間関係マネジメントの批判的考察を行う。
②共著者				

(4) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
①獲得共同研究(研究代表)				

②獲得共同研究（分担研究）				
③申請共同研究（研究代表）				
④申請共同研究（分担研究）				
⑤委託研究（企業等）				

（５）受賞関係

	研究テーマ	受賞日	表彰名	表彰団体名

２．教 育（本年度のみ）

		前 期	後 期
		科目名	科目名
担当科目	講義	人的資源管理論	経営管理論・マネジメント史・経営学総論
	演習	基礎ゼミ	ゼミⅠ
	演習		
	実習		
教育内容・方法の工夫	◆ 講義科目では、学生が、対象科目についての興味・関心をいかに継続させるかということを中心においた。それぞれの科目では、できる限り具体例を盛り込み、各テーマに関心をもってもらうということに主眼をおいた。また、各科目のテーマについて学生に論述してもらい一定の成果をあげた。		
	◆ 演習科目で重点項目として位置付けているのは、学んだことを実際に活用し、実践的な解決策を提示することを念頭において運営を行っている。基礎ゼミでは大学で学ぶということとはどのようなことを意識して学ぶ必要があるのかということをお伝えした。ゼミⅠでは、学生がマネジメントの基礎をテキストで学んだうえで、アクティブ・ラーニングに取り組んでくれた。		

（１）ピアレビュー・FD 発表数

	回数
①受け入れ数	回
②参加数	回
③FD 発表数	回

(2) 課外活動

	概要
①ゼミ特別活動	①佐藤ゼミ勉強会 ・学期中に使用していたテキスト（石井淳蔵・廣田章光編 [2021]『1からのブランド経営』発行所 碩学舎・発売元 中央経済社）の残りを発表し、議論を行う（第10～15章）。 ②体験学習 ・佐藤ゼミでは、協力的な要素が強いので、メンバーが協力して目標を達成することを意識して作業を行う。こうした作業をアクティブ・ラーニングに活かすため、この点を意識して京都の銘菓の和菓子作成の業務を行う。
②その他活動	

(3) 学内管理業務

	委員会名等概要
①学内委員会	
②学園委員会	
③ワーキンググループ	
④その他	

3. 社会貢献活動（本年度のみ）

(1) 公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①教育関係	
②学会関係	
③国	
④自治体	
⑤第三者委員会	
⑥産学・地域貢献	
⑦その他	

(2) 学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
①理事長・会長	
②理事	

(3) 講演会関係

分 類	活動・講演の概要
①講演者・登壇者・学会座長	

②その他	①オープン・キャンパス：8月17日のオープン・キャンパスで、「リピーターを増やす経営ブランド・ロイヤルティがもたらす効果一」を実施した。
------	--

4. 特記事項（本年度のみ）

--